

やくのみらい★創生



MIRAI MACHI
YAKUNO 2024

MMCやくの通信

11号

2019年3月

特集

おとなりさんに学びました

「自分たちのまちは

自分たちで創る」

まちづくり振興大会感想集

住んでよかった このまちに



漆の館の寒緋桜

過去と他人は
変えられないけど

未来と自分は
変えられる



MMCやくの 合言葉

地域の困りごとに向き合おう
身近で「出来ること」に取り組もう
何でも話し合える「場」をつくろう
通じ合える「仲間」をつくろう

編集・発行 夜久野みらいまちづくり協議会



参加者110名で盛り上がった
振興大会の様子



日本一住みたい田舎！朝来市与布土地域自治協議会 おとなりさんに学びました

今年は隣町の朝来市与布土地域で「地域づくり」に奮闘されている市職員の馬袋真紀さんをお招きして講演をして頂きました。夜久野が抱える課題は隣町も同じですが、先進地ならではの実践手法や、そのプロセスは大変勉強になりました。恒例の部会活動報告も、今年は部会員が中心となって趣向を凝らし、講演同様「分かりやすかった」と皆さんから好評を頂きました。

講演：馬袋真紀さん



秋の地区運動会

スリッパ飛ばし
表彰式



例年盛り上がりを見せるスリッパ飛ばし上位3位まで表彰させてもらいました。

こんな声を頂きました

たくさんさんの感想、ご意見を頂きありがとうございました。今後の活動に活かして参ります。
ここにはアンケートの一部を抜粋して掲載しており、また長文などは要約しております。ご了承ください。



◆大会に参加するのは初めてです。沢山の情報を頂きました。特に移住者の発表やその制度も聞けて大変良かったです。
◆朝来市の取り組みは、若い人や女性の参加もあり素晴らしい。とても参考になりました。夜久野も合併したら終わりでなく、再考すべきではないか。出てくることからはじめよう。部会員のまちづくりの思いが伝わると思います。



◆地域づくりの思いが地域の人々の行動力につながります。課題が出ることは前進に繋がります。言葉に気づかされた。◆各部会の発表では本音を言っていることが動をされた。◆馬袋さんの話で元気が出た。私が日頃感じていることを実践されているの素直に感謝している。◆講演を聞いて気づいた点が多かった。



また具体的に進んでいる。まち協に少しも協力したい。◆設立から3年半、まち協は成長している。◆まちづくりの体制や財源などをもう少し聞きたかった。◆結果も大切だが、それまでのプロセスが大切と改めて感じた。貴重な繋がりを無駄にせず色々な活動に繋がりたい。◆馬袋さんの講演は具体的にあり、ヒントが多かった。◆使命感や責任感でまちづくりをするのも大切だが、しんどい持続可能なものを目指し、楽しさ、面白さが大事。口コミの大切さにも共感。◆MMCの部会はよく頑張っている。若手をうまく育て、力を引き出している。◆まちづくりは人づくりだ。◆初めての参加で、地域の活動に多くの人々が活動されていくのことが分かった。報告があり、反省など希望が持てた。



◆合併後、活動の試行錯誤の様子をまとめた話は客観的にみると話が多岐にわたる。◆地域の若者や女性が楽しいと思う活動が必要で、それを進めるリーダーが必要。◆若者が興味と繋がりを持てば、夜久野は変わる。◆地域の課題（情報）を、みんなのものにするには、ひとり一人の歩みの踏み出しが大事。これは地域福祉でも同じと感じた。◆最初の一人の声→創意↓地域づくり最後の一人の声→総意↓地域自治。◆市民と行政が一体になることが、すべての始まりだと思う。◆各部会活動を拝見し活動再認識した。お世話様、感謝！◆とても分かりやすく是非、行政に頼らない地域づくりを進めて下さい。住民として何かに関わって行きたい。◆部会の自主性を更に推進すべき。◆4部会ともよく頑張っている。◆この活動をもっと住民に広げよう。



ご協力ありがとうございます。部会は一步ずつ前進しています。

経済活性化部会

今年度はこんな取り組みをしました。

★夜久野にあるものをスペシャルにするため、「銀河のまち」イメージに特化する項目を8分野に分けて取り組んでいます。



◆第一弾として「ホテルと星」

◎養父市のホテルの館の視察と夜久野のほたるの生息地の調査をしました。

◎銀河をイメージして「天の川銀河inやくの」と題してイルミネーションを大規模に展開しました。

◆農林商工祭にイベント参加

◎「夜久野高原に鷹が飛ぶ」

◎「夜久野高原で犬と遊ぶ」



デスクドッグショー
好天気に恵まれ大勢の観客で、楽しんで貰いました。
今後は、夜久野のイベントとして定着させていきます。

◆第2弾の取り組みとして

「JR駅舎のイメージをアップさせる

上夜久野駅は「夜久野高原」や「星」を意識し、下夜久野駅は「子午線のまち」を意識し、関係機関とともに話し合いを進めていきます。



定住・交流促進部会

空き家バンク登録は累計総登録数41軒！

この部会は部会設立時から一貫して「空き家活用」とバンク登録を推奨してきています。活用可能な空き家は現在46軒ほどですが、持ち主さんの意向もあり、中々進展しません。

一方、バンク登録は当初2軒程度が41軒となり、活動成果が表れています。移住者の購入成約や借用の話が増えています。

◆移住促進特別区域の指定を目指す

現在、畑地区が指定区域に指定されています。



部会では指定区域の範囲を広げて、有利な補助制度を活用してもらいたく活動しています。

移住者を増やすなど、急激な人口減少に対応しておくことも大切ですので、制度の説明が必要な自治会さんは、事務所までご連絡ください。

◆「新しい風」(移住者)

交流会の実施

第2回の交流会は、夜久野高原花テラスで15名の参加者がありました。焼きたてピザを囲んで楽しい懇談となりました。



空き家相談を承ります

MMCやくの事務局まで

教育・文化・スポーツ部会

伝統行事調査
小倉地域の伝統行事

「ももて」を見学

「ももて」は口小倉賀茂神社に伝わる厄除けの行事。

鬼が描かれた的に矢を射ます。10人が10本、合計100本なので、「百々手(ももて)」というそうです。



温かく迎えて頂きました

矢を射らせてもらったり、お神酒を頂いて、みなさんのお話の輪に入れていただき、楽しいひと時を過ごしてもらいました。

◆夜久野ふるさとカレンダー

大変な反響をいただき、お陰様で完売となりました。

次回のカレンダー作成にあたり、いろいろな自治会さんの行事を取材させて頂きます。

ご協力をよろしくお願い致します。

梅一輪

あいさつの声

こだまする

岨尾 充



福祉・あんしん部会

プロジェクト愛

毎月8日は

ボランティアの日

このボランティアの日は、実際に活動する日に限っていません。ひとり一人ボランティアについて考える日になっています。

◆今年からは、私たちの「まち」の美化運動から始めます。

美化運動の後は、みんなで楽しい企画も考えています。

是非ご参加ください。※詳しくはふくしあん新聞でお知らせします。

何でも防ぎ隊

見守り防犯運動の取り組み

①大懸垂幕で注意喚起

②マグネットステッカーによる自動車での注意喚起

③防犯シールを各戸配布、貼り付けによる注意喚起

◎今年からは、この運動を継続しながら「防犯ライト21」の活動に取り組みます。

交通事故・防災における活動

◆飛び出し注意看板の作成

◆特殊詐欺防止看板作成

◆ヒヤリハットマップの作成

現在36自治会が完成しました。

今後は、市での活用、各自治会での有効活用を考えています。



地域のみなさん！
ご存じの方はおられ
ますか？（笑）

懐かしいですね。以前は夜久野でバリバリ活躍されていた皆さんです。今もお、各地で元気に過ごしています。年に1度、こうして同じ故郷同士、親交を深められています。協議会も毎年参加させてもらい交流が続いています。（京都・大阪）
やっぱり「ふるさと」はいいもんだと。



やくの会京都のみなさん



大阪やくの会のみなさん



東京やくの会のみなさん

MMC広報プロジェクト 「満月会」誕生

このプロジェクトは、その名も「夜久野知らせ隊」と申します。またの名を「すみっこ夜久野」です。ホームページなどSNSを使って、京都のすみっこから、日本のまんなかから楽しく面白く発信していきます。



●MMCやくのホームページ更新中
<https://www.mmcyakuno.net/>

「検討委員会」発足

旧小学校が閉校してから6年、未だ活用方向が見えてきません。連合自治会、まちづくり協議会、支所、有識者などが中心になって、住民の声を集めて、市に提言していくため発足しました。

事務局を、まちづくり協議会に置いて推進していきますので、皆様方のご協力をよろしくお願いします。

お知らせコーナー

MMCやくの総会

平成31年5月26日（日）

午後1時30分

特別講演

午後2時30分

講師：牧野 篤先生

（東京大学大学院教授）

桜花祭

期間：3月31日～4月21日

イベント開催日

4月6日・7日（予定）

詳しくは桜花祭チラシをご覧ください。



ヘルスメイト



私たちの健康は 私たちの手で

このスローガンのもとに、子どもから高齢者まで、若男女“生涯を通じて、誰もが健康・運動・休養をテーマに活動します。”

毎日の食生活に「食」を大切に、おやつを元気に、お過ごしください。



市食生活改善推進員のみなさん